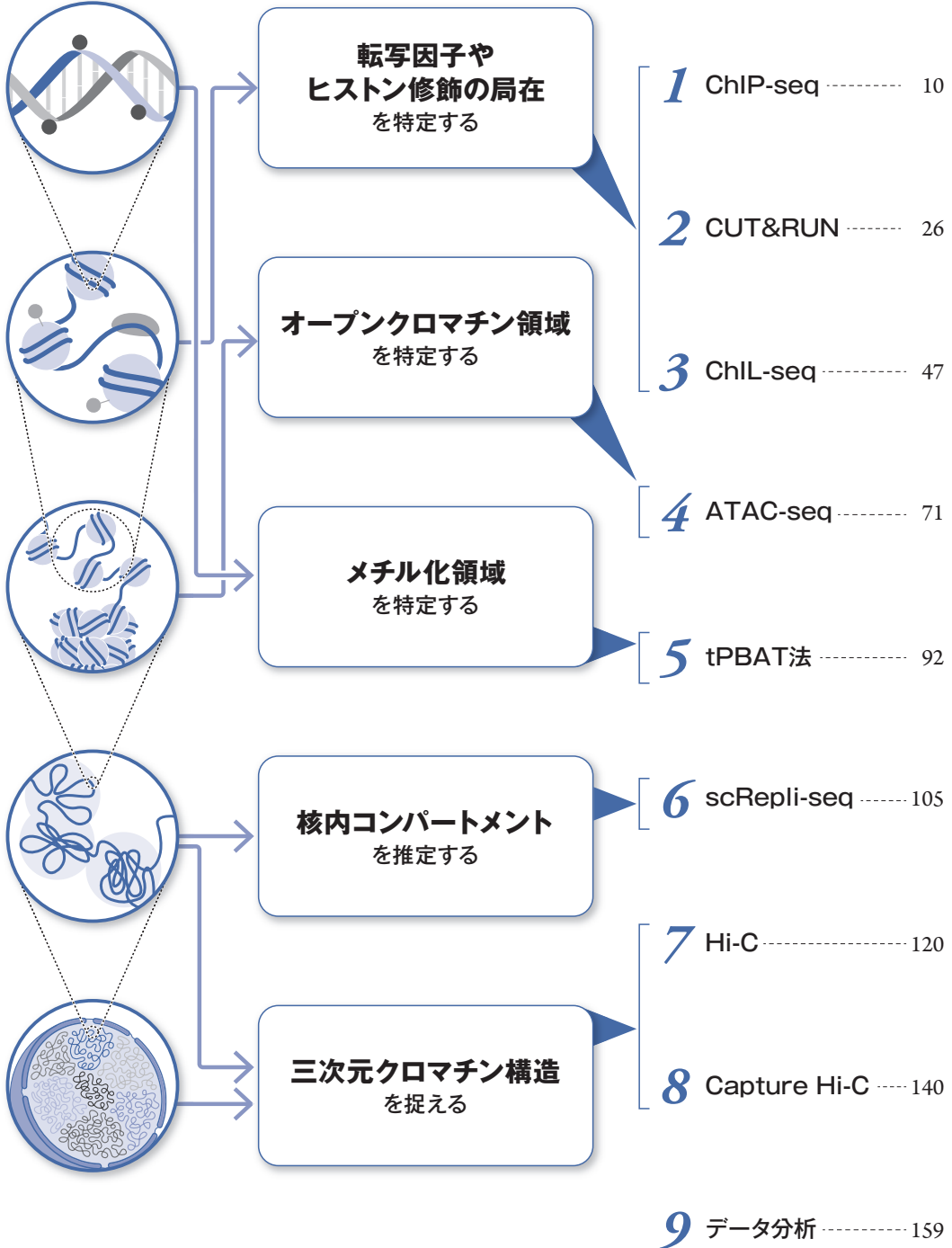


# 本書の構成

本書は、第1章から第3章のどこからでもお読みいただける構成にて編集されています。解析目的に応じてどの項目を参照すべきか、以下のナビゲーションをご活用ください。

## 第1章 NGSによるクロマチン解析

染色体・クロマチンの構造



## 第2章 イメージングによるクロマチン解析

### I. 固定細胞

標的のタンパク質・  
RNA・DNA  
を同時に見る

1 Immuno-  
RNA-DNA-FISH ..... 174

クロマチンの状態  
を見る

2 ATAC-seq ..... 188

特定のRNA分子  
を見る

3 smFISH・smiFISH ..... 195



DNA

転写



RNA

翻訳



タンパク質

### II. ライブイメージング

転写・翻訳の  
1分子イメージング

4 レビュー ..... 205

転写活性を見る

5 MS2/MCPシステム ..... 211

特定のDNA領域  
を見る

6 TetO/TetRシステム ..... 219

クロマチン修飾変化  
を見る

7 Mintbody ..... 233

## 第3章 最先端オミクス解析

トランスクリプトーム

×

空間情報

トランスクリプトーム

×

細胞表面タンパク質

1 seqFISH+ ..... 242

2 Photo-Isolation Chemistry ..... 247

3 Visium ..... 251

4 CITE-seq ..... 257